

21世紀農学コロキウム第1回ワークショップ  
2006年1月27日

農学におけるバイオマス利用研究  
フォーラムグループ  
(農学バイオマスFG)

---

応用生命工学専攻  
五十嵐泰夫

---

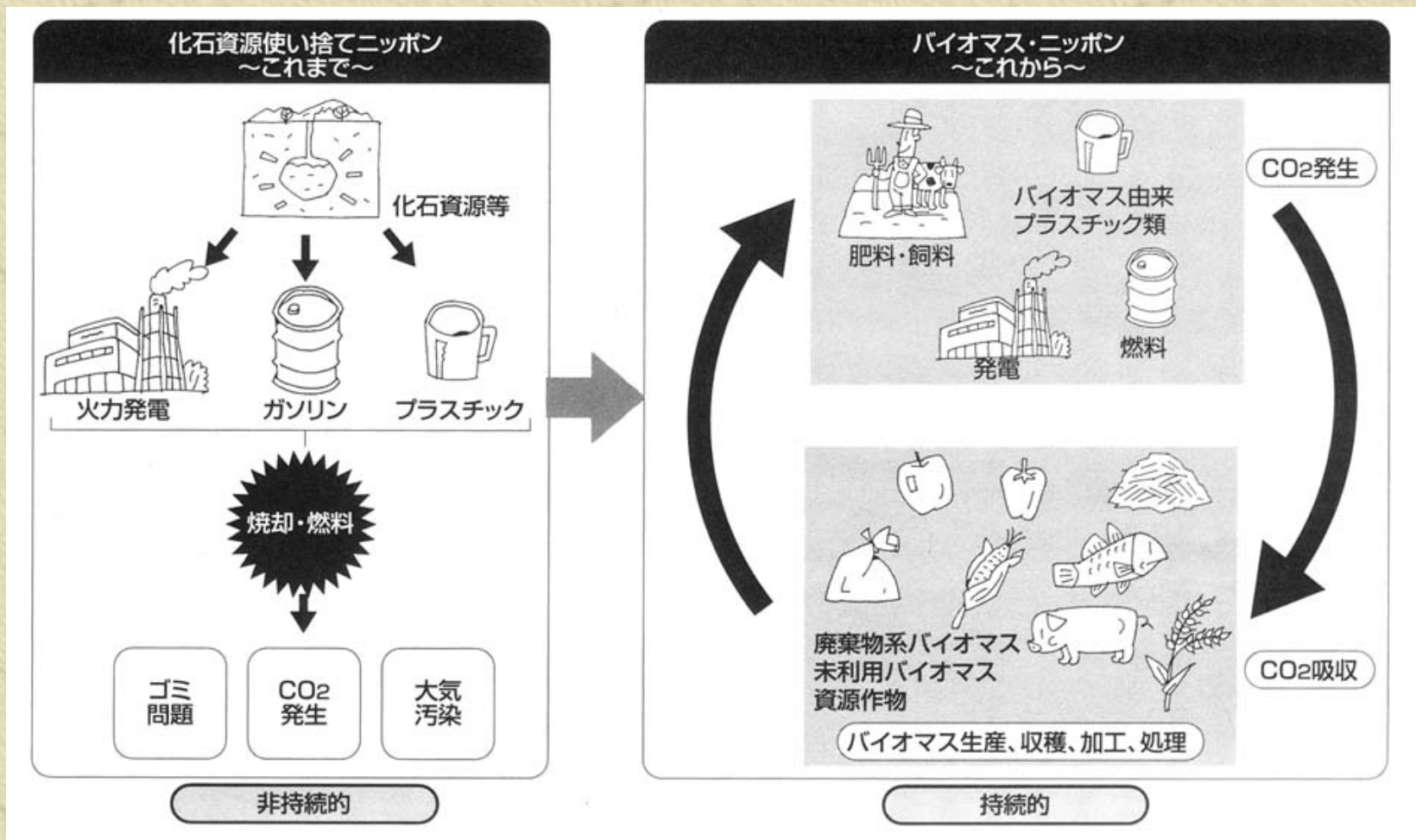
# バイオマスとは

---

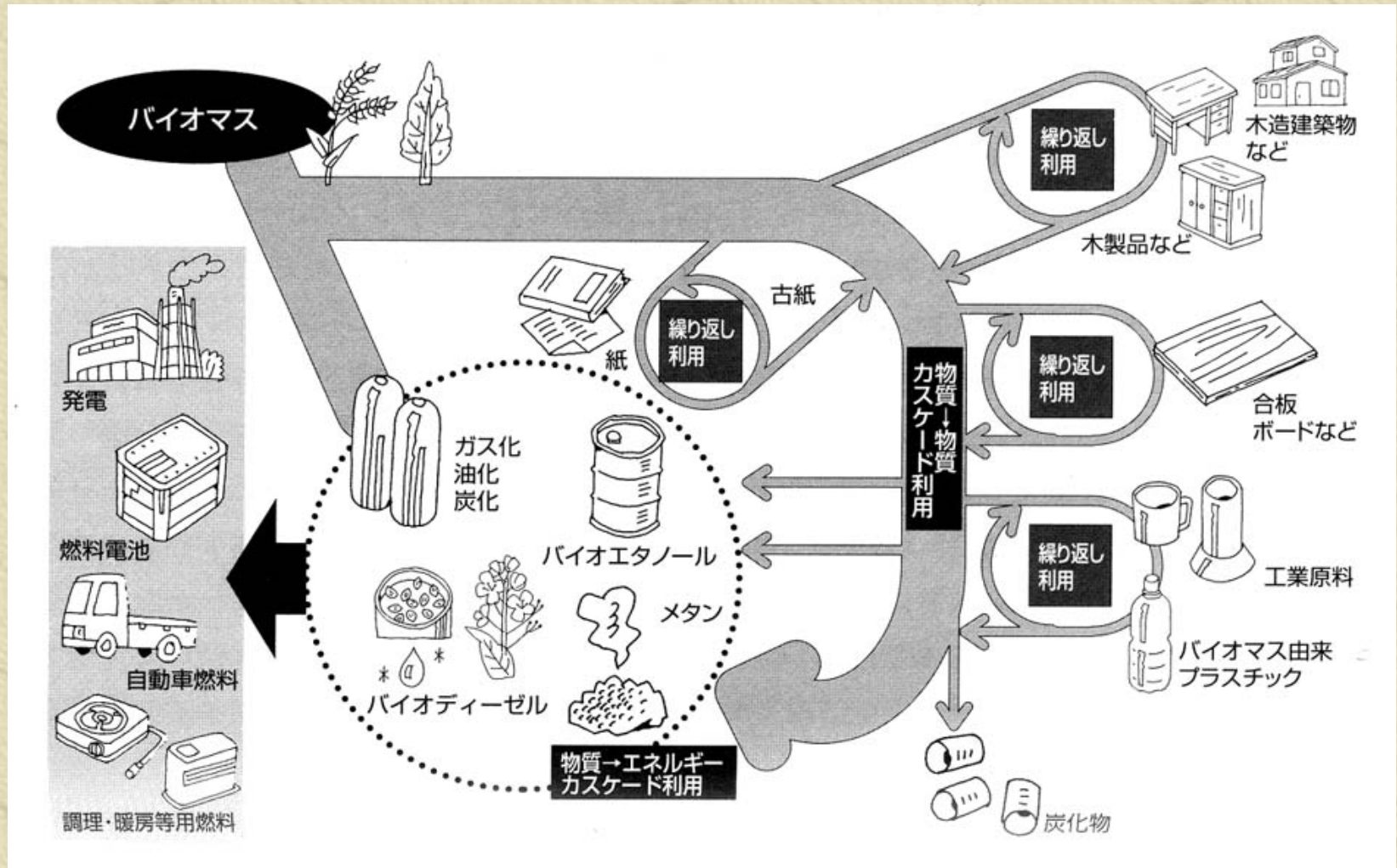
生物資源 (bio) の量 (mass) を表す概念で、

再生可能な生物由来の有機性資源で  
化石資源を除いたもの

# なぜ、バイオマス



# バイオマスの高次的利用で 築く循環社会



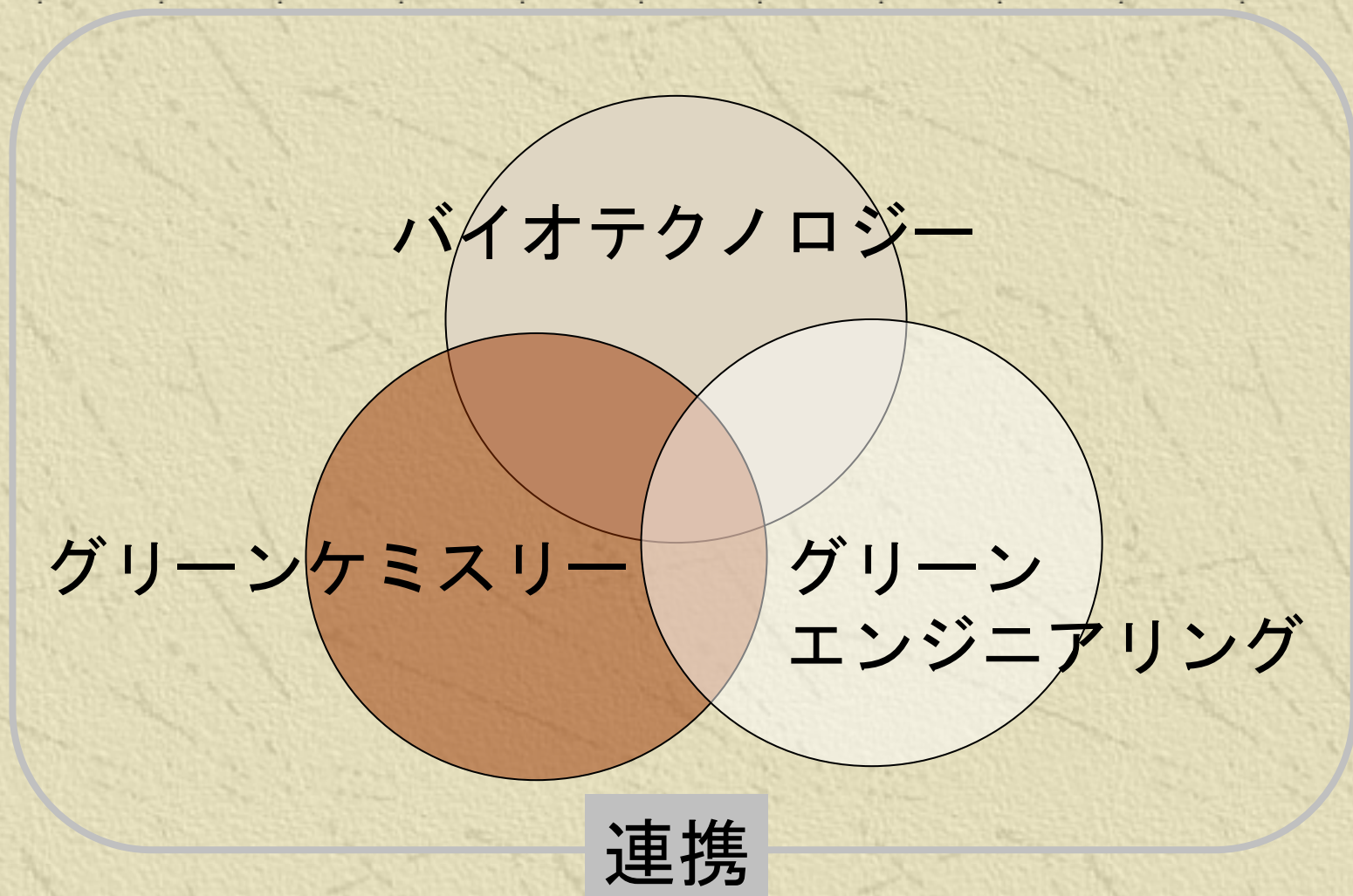
# 農学バイオマスFG設立の目的

---

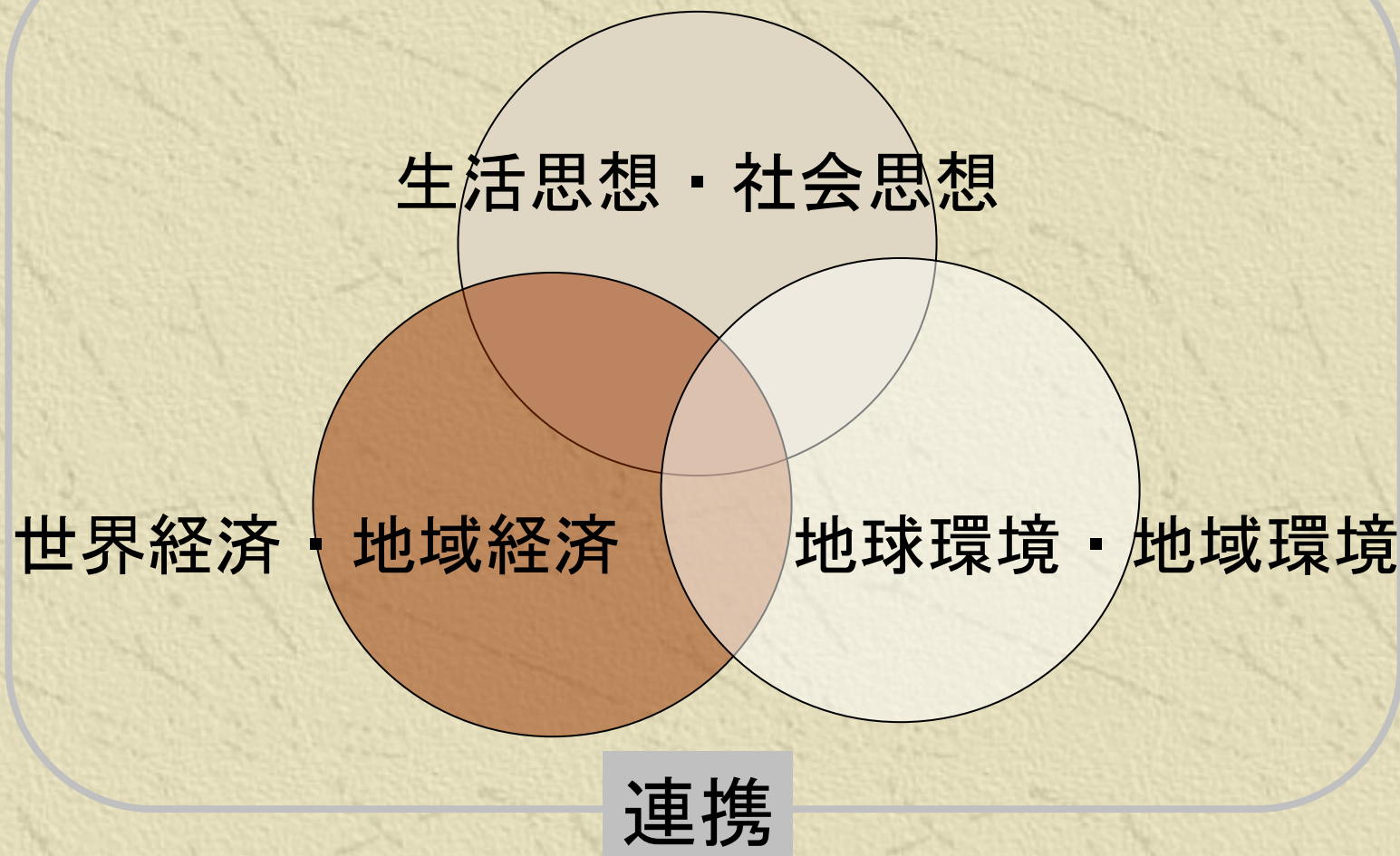
バイオマスの多くは農学に関わりの深い森林、海洋、農産、畜産の現場に存在している。

生物資源の高次的な有効利用、地球環境の保全などを視野に入れたバイオマスの利活用は農学生命科学の研究分野の大きな使命と言える。

# 農学におけるバイオマス利用研究の 技術課題とその連携を考える



# 農学におけるバイオマス利用研究の 社会的課題とその連携を考える



# 講義項目

---

## バイオマス利用研究特論Ⅰ

2単位 夏学期（修士課程）

バイオマス利用に関する収穫技術論，物質変換技術論，エネルギー変換技術論，関連バイオテクノロジーなどの基礎事項について講義を行う。

## バイオマス利用研究特論Ⅱ

2単位 夏学期（修士課程）

バイオマス利用に関連した資源論，環境論，社会思想，物流経済，地域経済，社会制度，国際関係および国際動向などについて講義を行う。



# 演習項目

---

## バイオマス利用研究ゼミナールI

1単位 夏期休暇中（修士課程1年次）

バイオマス利用目的ごとにグループにわかれて現場視察を行い、これに基づき農学におけるバイオマス利用研究のあり方について演習を行う。

## バイオマス利用研究ゼミナールII

1単位 夏期休暇中（修士課程2年次）

バイオマス利用の展開に関する政策提案あるいは研究プロジェクト提案を念頭においた演習合宿を行う。

。

# 教育担当スタッフ

氏名	所属専攻など
五十嵐 泰夫	応用生命工学
永田 信	森林科学
仁多見 俊夫	森林科学
木南 章	農業・資源経済学
横山 伸也*	生物環境工学
芋生 憲司	生物環境工学
安藤 直人	生物材料科学
空閑 重則	生物材料科学
鮫島 正浩**	生物材料科学
森田 茂樹	農場

\* グループ長, \*\* 事務局担当